

今日の新聞1面は、「新型コロナ 緊急事態 全国で延長へ」（南日本新聞）です。まだ続きます。自分が高校生だったらどうするか考えてみました。すぐ、よし頑張ろうという気になる自信はありません。今の私にできることは生徒・職員と一緒に頑張ろうと言うことだけです。

今回の休業期間中の私のニュースレターは7号で最後です。今の高校の様子や私の高校時代の話など、いろいろ紹介してきました。読んでいただいてありがとうございます。自分自身を振り返る機会になりました。

5月7日（木）は、久しぶりの登校です。みんなを待っています。



## 「伊高虎変」

進路指導室の入り口に、掲げてあることばです。賢者が、いろいろな変化に合わせて、日に日に自己変革することという意味の「大人虎変」から来たことばではないでしょうか。似たようなことばに、「君子豹変」があり、もともと、人格者は間違いをすぐに認めて改めるという良い意味で使われていましたが、現在は節操がないという本来の意味とは違う使われかたもしています。 **伊高は揺るがない『虎変』でいこう。**

## ★9月12日★

私の誕生日です。次のことばに助けられて、この日に生まれたことが2001年以降の私のモチベーションのもとになっています。全く個人的な思い込みですが、それでいいのかもしれない。

「この9月12日の太陽に救いをみてはいけないのかもしれない。

けれども日は昇り、世界は続き私たちは生きている。

われわれはそこから出発するしかないのだ。

2002年の9月12日もまた日が昇るだろう。

私はその朝日を見たいと思った。」

冷泉彰彦（JMM from 911/USA レポート，2001年9月）

## 【高校時代に読んだ本から】山本コウタロー『アメリカあげます』

「岬めぐり」で有名な著者が、アメリカのロサンゼルスに住んだことをネタにして書いた本。なぜ、買ったのか覚えていませんが、アメリカの人々の生活の様子や考え方が新鮮だったような気がしています。一番印象に残っているのは、日本に帰る飛行機の窓から住んでいた街を見ながら、アメリカは好きだけど、いいことばかりじゃないんじゃないかという感じが伝わってくるころでした。